

迎春

2005



紋別市議会議員

佐藤 留次



紋別市長

赤井 邦男

あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
遠紋地域の12市町村が一致協力し、昨年5月に開幕した「いなか博」は、全国各地から多くの方々をこのオホーツクの地に迎えるなど、大きな成果をあげ無事夏ステージを終えました。現在冬ステージを実施中ですが、この事業を通して得られた知恵や経験が、今後のまちづくりに活かされ、地域の活性化につながるよう願っております。
また、ご承知のように市町村合併が不調に終わったことは、地方分権が進む中、合併が行財政基盤強化の有効策と考えられるだけに残念な思いがいたします。
低迷の続く地域経済や道都大学の撤退、さらに三位一体改革への適切な対応など、紋別は今多くの課題を抱えております。
かつてない厳しい状況にはありますが、本年は大型プロジェクト・オホーツク流水公園の工事がいよいよ始まります。設計の段階から多くの市民が参画された事業であり、供用開始が今から待たれるところです。
地方の自立が強く求められる時代にあって、議会の役割は益々重要なものとなりますが、市民の皆様のご要望が市政に反映されるよう今後なお一層努力してまいります。
皆様のさらなるご健康とご多幸を祈念し、議会を代表しての年頭のごあいさつといたします。

新年、あけましておめでとうございます。
市民の皆様にとって、本年が希望に満ちた明るい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。
昨年、過去最多の台風上陸が記録されたほか、新潟県中越地震など深刻な自然災害に見舞われ、紋別市においても観測史上最大の暴風により、家屋や山林などに甚大な被害を受けた年でありました。その一方で、アテネオリンピックでの日本選手団の活躍や全国高校野球選手権大会での北海道勢初優勝という快挙を目のあたりにし、大きな感動と共にあらためて青年達のたくましさを再認識させられた年でもありました。
また紋別市では、市制50周年という大きな節目の年を迎え、私は半世紀の過去の歩みを省みるとともに、来るべき次の時代へ向け、紋別の明るい未来を市民の皆様と共に築き上げていかなければならないと考えを新たにいたしましたところでもあります。
遠紋12市町村が連携して開催しています「オホーツク DO いなか博」では、道内外から訪れた数多くの観光客にオホーツクの魅力を伝えることができ、広域連携による体験観光に手応えを感じることができました。冬ステージが1月から実施されますので、市民の皆様もぜひ体験メニューやイベントに参加し、楽しんでいただければと願っております。
現在、地方自治体を取り巻く環境は、三位一体改革の取り組みなどで非常に厳しくなっており、地方の自主自立を如何に図るかが問われております。この大きな変革期を迎え、地方が生き残っていくためには、行政の努力はもとより市民の皆様がの力が今まで以上に必要となってくるものと考えております。
市民も元気、まちも元気な一年でありますよう、市民の皆様と共に市政を進めて参りたいと考えておりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



山中 憲一
森脇 道成
森本 秋嘉
森澤 繁澄
宮川 良一
藤田 孝太郎
藤川 和子
野村 淳一
西本 征幸
富澤 直六
菅原 廣
柴田 央
栗原 誠
北原 秀一郎
大垣 保
石田 久就
飯田 弘明
阿部 秀明
青田 輝智

◆市議会
議長 佐藤 留次
副議長 片岡 一道
議員(五十音順)

市役所
市長 赤井 邦男
助役 宮川 正己
収入役 幡野 勝彦



◆固定資産評価審査委員会
委員長 柴門 憲雄
同代行 遠藤 圭五
委員 堂地 榮次

◆農業委員会
会長 岡村 雅敏
同職務代理者 千葉 好弘
ほか委員 一同

◆公平委員会
委員長 坂野 徳三郎
委員 高橋 榮助
委員 田中 恭子

◆選挙管理委員会
委員長 安田 昭博
同職務代理者 安田 美智子
委員 住吉 榮樹
委員 藤本 道樹

◆監査委員
山口 善万
青田 輝智

◆教育委員会
委員長 若松 久親
同職務代理者 勝藤 雄司
委員 掛村 均
委員 三浦 寿夫
教育長 西田 修次